

【2020年6月 メキシコ・オリンピック委員会 カルロス・パディージャ会長からのメッセージ】

私は、カルロス・パディージャです

オリンピック委員会会長として、メキシコから、広島の人々の皆さんへご挨拶申し上げます

全ての人間が越えなければならないこのような困難な時期に、広島の人々とこの画面を通じてお話できるのは、本当に嬉しいことです

私達にとって、友人である広島の人々との繋がりを絶やさないことが、とても重要だと思っています

湯崎知事、市町長の皆さん、全県推進会議の皆さん、そして来年の東京オリンピックの事前合宿のために尽力してくださっている皆さんには、大変感謝しています

ご存知のとおり、新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックにより、人類の祭典であるオリンピックは、残念ながら延期されました

メキシコは、このオリンピックのために準備をしてきました

そして、それを広島の人々は、一生懸命支援してくれました

すでに、広島で最終合宿をすることは、決まっていました

選手が、東京の選手村に入る前に本番で力を出せるようにと、計画していました

来年も皆さんの支援をいただけるよう、願っております

湯崎知事にお願いします

メキシコがこれからも知事、そして広島の人々の温かいご支援に感謝していることを忘れないでください

そして、また来年も新たに、我々が心から願っている合宿の機会が、2021年に開催される東京オリンピックの前に最終調整をするために、与えられることを願っています

来年の東京オリンピックは、開催されると信じています

最近、国際オリンピック委員会のトーマス・バッハ会長が、「東京オリンピックの開催は、我々と日本の皆さん、また日本政府との強固な約束である」と表明されました

私は広島で皆さんにお会いできることを願っています

世界のパンデミックの情勢が落ち着いたら、私としては、あらたに親交を深め、感謝を伝える機会を持ちたいと思っています

そしてこれからも、この関係を継続していけることを願っています

私が心から願っていることは、全ての人々の健康です

家族、友人、職場の仲間とともに、健康に気を付けていきましょう

そして、来年、必ず日本でお会いしましょう

ありがとうございました。 お会いする日まで！